



川内優輝選手 × あいおいニッセイ同和損保

マラソンキャラバン

AD Challenge Support

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

本資料は、金融記者クラブ、体協記者クラブ、JOC記者会に同時配布しています。

川内優輝選手の合宿始動およびマラソンキャラバン再開に関するお知らせ

2020年7月31日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）所属のプロランナー川内優輝選手は、新型コロナウイルスの影響により活動を控えていましたが、来るべき大会出場に備え新型コロナウイルスの感染防止を徹底したうえで、今シーズンの合宿活動を再開します。

また、川内選手と当社が協働で地域貢献を行う全国行脚「マラソンキャラバン」を8月より再開することとしましたので、併せてお知らせします。

1. 夏季の合宿計画

これまで、新型コロナウイルスの影響により、川内選手が出場を予定した大会の多くが中止もしくは延期となりました。

いまだ大会開催が不透明ではありますが、来るべき大会出場に向けて本格的なトレーニングを再開しており、8月以降の合宿について以下の通り予定しています。



○今後の合宿予定※1

8月 6日～8月12日 山形県蔵王町（高所トレーニングの一環）

8月15日～8月24日 北海道釧路市（High-Intensity トレーニングの一環）

8月27日～9月 4日 ニューカレドニア※2

9月 7日～9月16日 岐阜県高山市、下呂市（御嶽エリアでの高所トレーニングの一環）

※1：9月17日以降の合宿トレーニングは、現在計画中です。

※2：入国制限が完全に撤廃された場合のみ実施し、渡航不可の場合は国内合宿に変更予定です。

2. 「マラソンキャラバン」の取り組み計画

2019年度に12回実施したマラソンキャラバン※3について、2020年度は新型コロナウイルスの影響により大会の開催が不透明であることから、当面は各地域での講演会等を中心とした活動からスタートします。

○今後のマラソンキャラバンの予定※4

8月 4日 講演会（長野県中野市）

9月18日 講演会（神奈川県横浜市）

10月31日 講演会（熊本県玉名市）



※3：マラソンキャラバンとは

当社と川内優輝選手が、マラソンを通じて日本全国を盛り上げて地域貢献につなげようという全国行脚プロジェクトです。主に、川内選手が招待選手として出場する大会、自治体からの要請に呼応した講演会などを通じた活動を指します。

※4：2021年1月～3月に複数の大会出場、マラソンキャラバンを予定しています。（2020年7月31日時点）

3. 今後の川内選手の活動

(1) フルマラソン（サブ20）※5 100回達成

2020年3月に出場したびわ湖毎日マラソンで96回目のフルマラソン（サブ20）を記録しており、ギネス記録である100回まであと4レースに迫っています。

※5：フルマラソンにおいて2時間20分切りで完走することを指します。

(2) アボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM) ※6をはじめとする国際大会へ出場
2018年4月に優勝したボストンマラソンをはじめ、多くの国際大会に出場し、世界の「KAWAUCHI」を目指して走り続けます。また、その先に新たな目標を標榜しています。

※6: アボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM) とは、東京、ボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティマラソンで構成される世界で最も名高く大規模な6つのマラソン大会です。

(3) 日本国内各地のマラソン大会へ出場

訪れたことのない地域の大会、新設された大会など、各地で魅力的な大会が開催されています。1年間に出場できる大会は限られてしまいますが、マラソンを愛する市民ランナーの皆さんとともに各地の大会へ出場を実現したいと考えています。

(4) マラソンキャラバンを通じた地域への貢献

川内選手は、自身を育ててくれたマラソンへの恩返しとして、全国津々浦々まで、時間をかけて「マラソンキャラバン」を具現化していくことを目指しています。

<参考>

◆川内優輝選手プロフィール

1987年3月5日生まれ。東京都世田谷区出身。学習院大学法学部政治学科卒業。

2019年4月よりあいおいニッセイ同和損害保険(株)所属。

<主な競技戦績>

- ・2019年バンクーバーマラソン優勝/静岡マラソン/優勝/世界選手権29位
- ・2018年ボストンマラソン優勝/萬金石マラソン優勝
- ・2017年ゴールドコーストマラソン3位/プラハマラソン6位
- ・2016年チューリッヒマラソン優勝/福岡国際マラソン3位
- ・2015年ニューヨークシティマラソン6位/チューリッヒマラソン2位
- ・2014年第17回アジア大会(仁川)マラソン 銅メダル など

4. 当社の今後の取り組みについて

当社は、行動指針の一つに「地域密着」を掲げ、常に、地域社会とのつながりを大切にするとともに、アスリートの就労支援など地域に根差した活動を全国で進めています。

今後も川内選手の競技活動をサポートするとともに、川内選手とともに地域貢献に資する活動を「マラソンキャラバン」として全国各地で展開していきます。

以

上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

